

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成20年度事業分)

施設名		山梨県立国際交流センター				
指定管理者		財団法人山梨県国際交流協会		所管課	国際交流課	
指定期間		平成18年4月1日～平成21年3月31日				
施設の使命・役割(運営目標)		国際交流事業等の実施を通じて、県民により多くの国際交流、国際協力の実践の機会を提供すること 国際協力を推進するため、本県関係国から来日した外国人及び地域の国際化を推進する外国人に対し低廉で長期に宿泊できる施設を提供するとともに、入居外国人と県民との国際交流活動を活発化させること				
指定管理者が行う業務		会議室の利用の承認等に関する業務、施設設備の維持保全業務 国際交流活動等を促進させるための普及啓発業務、情報・資料の収集・提供業務 相談等受付業務、災害時における対応に関する業務				
維持管理業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	施設の安全確保等のための点検や清掃を適宜実施し、基本協定書に基づく安全管理及び快適な利用環境の確保に努め、当初の目的を達成した。	施設管理については、おおむね良好に管理されている。利用者及び宿泊者とのコミュニケーションを密にとり、修繕箇所の早期発見を行う等、適宜適切な対応がとれている。今後は、より県民に開かれた国際交流の拠点としてのセンターの機能強化を図るべく、施設利用者の声を反映する工夫や法令の改正に伴う施設管理者としての管理責任の変化に遺漏無く対応していく必要がある。				
運営業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	各種事業の実施により、国際交流・理解、国際協力活動の促進、多文化共生社会に即した情報提供、普及啓発、国際観光の振興など、当初の目的を達成した。	従来の国際交流、国際協力に関する業務に加え、多文化共生社会の推進、国際観光の進展等、指定管理者として新たなニーズにも積極的に取り組んでいる。今後とも、増加する在住外国人の医療や災害時等、緊急時の支援体制の迅速な整備、姉妹都市締結記念イベント等の企画・立案及びこれを契機とした民間レベルの交流の促進について、民間交流団体の中核団体として、中心的な役割が期待される。				
自主事業の評価		指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容		
		なし				
利用者満足度調査	調査結果	満足度		利用者の声		
		利用前の整理整頓の状況・・・97.6% 施設設備の充実度・・・97.8% 施設設備の整備状態・・・96.7% 施設使用料について・・・96.2% サービスの提供内容・・・92.5% これからも利用したいか・・・98.6% 総合・・・96.5%		・早めにかけていただき、ありがたい。 ・会議室を借りることができて大変ありがたい。 ・大変素晴らしい施設で、これからも利用させていただきたい。 ・スタッフがとても親切で気持ちよく利用できる。 ・照明を明るくしてほしい。 ・駐車場が狭い。 ・使用料の「後払い」を可能にしてほしい。 ・閉館時間を午後10時に延長してほしい。		
利用者数	評価	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容		
		各項目とも90%を超える満足度を得ることができ、当初の目的を達成した。利用者の声を踏まえ、引き続き利用者数の増加に向けた検討を重ねていく。		総じて、利用者には満足していただいている。より県民に開かれたセンターとなるよう、利用者の声について検証を行い、必要な対策を講じていくこと。		
利用実績	利用者数	H19年度実績(人)	H20年度計画(人)	H20年度実績(人)	H21年度目標(人)	
		23,469	20,500	20,190	21,518	
収支の状況	評価	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容		
		利用者総数は前年より減少したが、会議室利用では件数は増、人数は減となっている。宿泊室の利用率アップに向けてさらなる工夫が必要である。また引き続き昼間の会議室利用の促進にも努めていきたい。		会議室の利用率の向上には、積極的に取り組んでいる。宿泊室の利用は、県に許可権限があり、主に県の施策関係者か入居審査会による審査を経た留学生のみが入居できる。昨年度は入学試験の関係で、有資格者が減少したため、宿泊室の利用率の向上が難しい状況だった。会議室と異なり、指定管理者の営業努力の余地は少ないが、関係機関への情報提供の強化は必要である。		
収支の状況	科目	H20年度計画額(円)	H20年度実績額(円)	差額(計画額-実績額)(円)	H21年度計画額(円)	
	収入	利用料金収入	0	0	0	0
		指定管理料	39,918,000	39,918,000	0	38,889,000
		その他収入	20,665,000	20,154,000	511,000	21,478,000
	計	60,583,000	60,072,000	511,000	60,367,000	
支出	60,583,000	59,217,000	1,366,000	60,367,000		
差し引き(収入-支出)	0	855,000	855,000	0		
施設の運営目標の達成状況	評価	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		
		公認会計士の指導を受けながら、適正に経理を行っており、運営体制は安定している。		事業遂行にあたってはコスト意識を持って対応している。より効率的な事業展開を図るため、事業への参加者を増やす努力が求められる。年齢、地域の面でより広く参加者のすそ野を広げるため、市町村の国際交流協会や民間の国際交流団体等との連携強化による利用者数の向上を図る必要がある。		
施設の運営目標の達成状況		各種の国際交流事業等の実施により、県民に対しより多くの国際交流、国際協力の実践の機会を提供することができた。 国際協力を推進するため、本県関係国から来日した外国人及び地域の国際化を推進する外国人に対し低廉で長期に宿泊できる施設を提供することができた。当協会の国際交流事業を通じて、多くの入居外国人と県民との交流が活発に行われた。		主催事業参加者数は目標を達成しているが、幅広い県民の方々に、尚一層、事業参加を促して、国際交流センターの地域の国際交流拠点としての機能を強化していく必要がある。 県民への身近な国際交流機会の提供の場となるよう、センターに宿泊している外国の方により積極的にセンター事業に参加するよう引き続き要望していく必要がある。		
総合的な評価及び改善事項		(財)国際交流協会は国際交流センターの指定管理者として、国際交流、国際協力関連事業に加え、多文化共生社会の推進と国際観光の進展に係る事業を行っている。さらに、県民への情報提供や民間の国際交流団体への活動支援も行っている。実施事業及び施設管理とも概ね良好に行われており、施設利用者の満足度も高い。県民に、より開かれた国際交流センターとするため、会議室等利用率向上のため、さらなる工夫が必要である。国際交流等に関する幅広い事業を限られた人材で実施していることから、市町村や他の国際交流関係団体等との連携協力による、更なる事業効果の向上が望まれる。				